

こおサポ引越しました!

こおりやま若者サポートステーションは、8月に新しい事務所に引越をいたしました。これまで郡山市役所の裏にありましたが、西ノ内事務所のほど近く、うねめ通りに沿いのビルの1階になります。以前の事務所よりも広々としていて、白を基調とした内装の新事務所は、利用者の方々にも大変好評です。

こおりやま若者サポートステーションでは15歳から39歳までの若者を対象に、就労に向けた支援を行っています。面談でその方の状態、困っていることをお聞きし、それに応じて支援内容を決定しています。

社会に出る一歩を踏み出すのを後押しするプログラムの他、就職活動を意識して社会人のマナーを身に付ける段階のプログラム、さらに応募活動をする段階においては面接対策やビジネスマナー講座など、その方の段階に応じた支援プログラム等をご用意しています。そうしたプログラムの利用を通して、就職活動で困っていた方



がご自身に合ったキャリアを実現していくことを、サポートステーションは願っています。

さて、新しくなったサポートステーションには、個室の面談室が2つとオープンな多目的スペースが1つあり、使用できる場所が以前より多くなりました。これにより、これまでよりもさらに充実した支援を行っていきたく考えています。スペースが増えたことで、受け入れられる利用者の方の数も増えましたので、今後はより多くの方を支援することが可能になります。

こおりやま若者サポートステーションは、新しい事務所によりいっそう地域の方々のお役にたてるよう、気合を新たに頑張っております。



田中館佳子

こおりやま若者サポートステーション
●まだまだ勉強不足ですが、常に学ぶ精神を忘れず、向上していこうと思います。

新スタッフ紹介



熊田悦子

こおりやま若者サポートステーション
●9月から学校連携推進事業担当スタッフとなりました。よろしくお願いたします。

これからの活動予定

●9月21日(土)「ビーンズ親の会」

13:30~15:30 フリースクールにて
今回は「親まめの会」と合同開催です。

●10月12日(土)「サポステ家族の集い」

13:30~15:30 矢剣会館にて

●10月26日(土)「ビーンズ親の会」

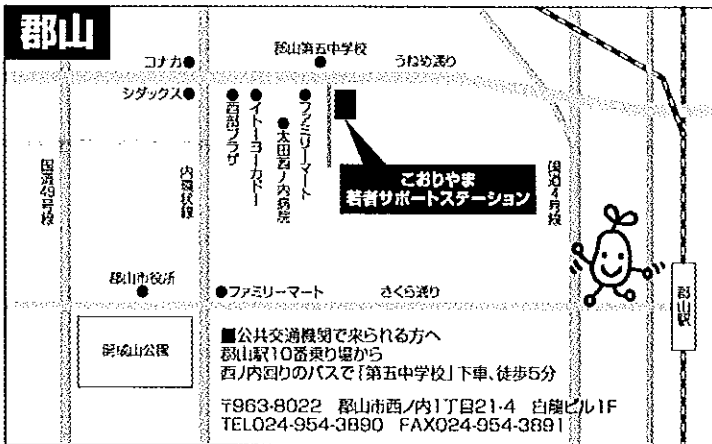
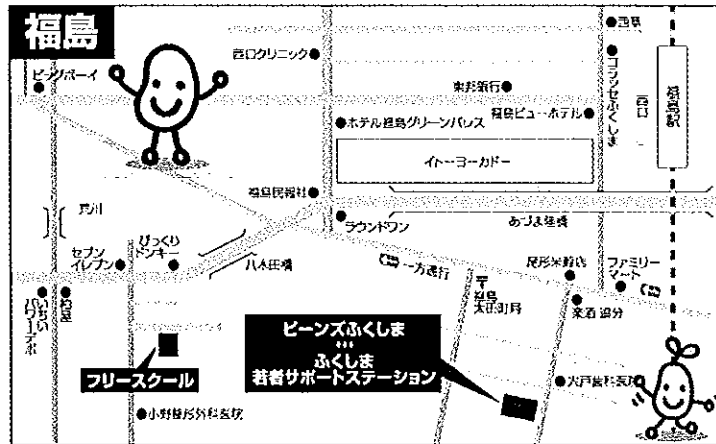
13:30~15:30 フリースクールにて

お知らせ 避難者向け情報はこちらへアクセス! ふくしま結ネット [URL] <http://yuinet.beans-fukushima.or.jp/>

突然、虫の声が足元から湧き上がってきたような気持ちでした。夏の終わりの暑い日の午後、ビーンズの玄関前に立った時、いっせいに虫の音が耳に聴こえてきたのです。た

ぶん虫の音が始まったのはたった今ではなかったはずなのに聞こえていませんでした。それがその声に気づいた途端まるで何かのスイッチが入ったかのように聞こえてき

たのです。「聴く(聞く)耳」は持たないのとえその声があったとしても聴こえないのかもしれませんが、いろんな声が聴こえる柔軟な耳を持ちたいなあと思いました。



●ビーンズふくしま <http://www.k5.dion.ne.jp/~beans-f/>

●ふくしま若者サポートステーション <http://www.fukusapo.org>

ビーンズ通信 Vol.59

●発行元
特定非営利活動法人
ビーンズふくしま
〒960-8066 福島県福島市矢剣町22-5 2F
TEL&FAX 024-563-6255
URL <http://www.k5.dion.ne.jp/~beans-f/>
E-mail info@beans-fukushima.or.jp

●発行日/2013年9月10日

NPO法人ビーンズふくしまは、不登校の子どもやひきこもりの青年などに安心できる居場所を提供し、1人1人に寄り添って、ゆるやかな社会参加を促し、その自立を支援する、若者支援の理念に基づいて事業を展開しています。

理事長 若月ちよ

「不登校の子どもたちの居場所が欲しい」という多くの方たちの気持ちをつないでフリースクールビーンズふくしまがスタートして14年。

この14年間は、子どもたち若者たちと共に歩んだ日々でした。目の前に現れた子どもたち若者たちと共に立ち止まり、共に悩み、共に考え、そしてともに笑い…いつも、子どもたち若者たちの視点に立ちながら、歩んできたなあと感じています。

時代の流れの中で活動が広がり、つながることができる子どもたち若者たちも徐々に多くなってきました。

ビーンズらしく子どもたち若者たちとつながっていきってなんだろう…今、社会の中で本当に必要とされる子ども若者支援ってなんだろう…そんなことをあらためて考えながら、15周年に向けて活動していきたいと思っています。

ビーンズふくしまの14年間



14th anniversary

お泊まり会と14回目のジャンプ

フリースクールスタッフ 佐々木

1999年9月9日9時9分9秒、ビーンズふくしまは多くの方の祝福を受け、その産声を上げました。今年、ビーンズふくしま14周年です。その記念すべき日の2週間前、

使った鍋をつくる」という、豪華絢爛な企画を立てられました。

創立記念前日、お泊まり会が実行されました。雨のため、BBQは室内での焼肉パーティーになってしまったのですが、慣れ親しんだ建物の中でゆっくり食べることができたのは、かえってよかったのかもしれない。いつも居場所に居るメンバーも、ご無沙汰だった子や、久しぶりのOBの子、フリースクール以外のスタッフも駆けつけてくれ、前夜祭の宴は、夜中まで続いたのです。

そして、いよいよ9月9日!9時9分9秒が、刻一刻と近づき、そしてその瞬間、毎年恒例のジャンプ!この儀式も14回目で、数々の先輩たちがこの時間にジャンプしてきたと思うと、何か考え深いものがありました。こうして無事に14周年を迎え、ビーンズはまた進みだしています。これからも皆さんと共に歩いて行けたらと思います。改めて、よろしくお願いたします。



ビーンズ14周年を迎えて

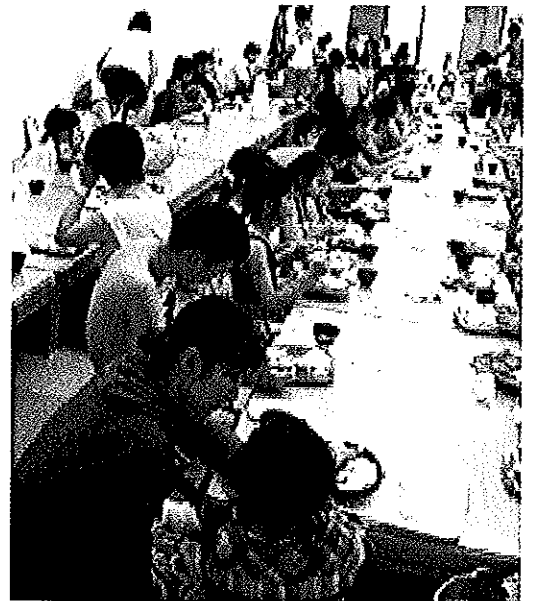
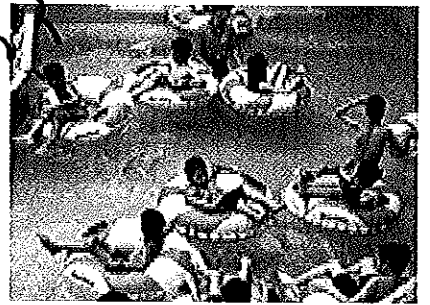
フリースクールメンバー 高橋愛斗
ビーンズが始まって14年。僕は6年間通って色々な事をしたり、学校では得られない体験をできたと思います。就労体験や皆で作る修学旅行、週ミーティングでは自分のやりたい企画を出して「自分の居場所はここだ!」と思

ました。高校進学の時もずっと自分の中で思っていた「何で学校に行くのか?」という疑問と一緒に考えてもらいました。今の自分があるのはビーンズのおかげです。また15周年も皆と共に祝えたらと思います。

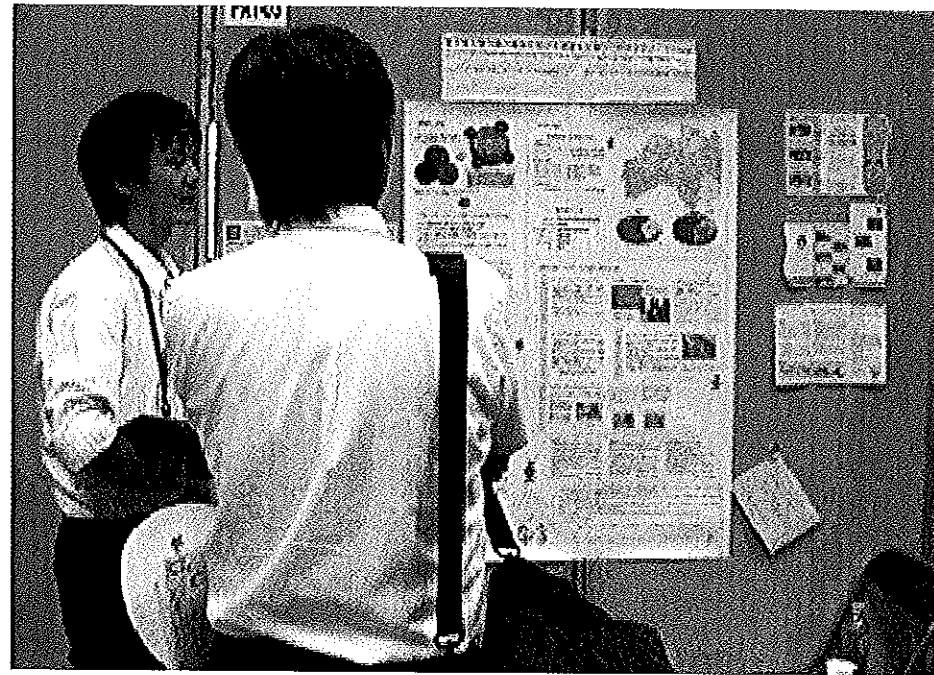
ふくしまピアサポートネットでの取り組みを 全国に向けて発信!!

第2回

スパリゾートハワイアンズへ行こう!
8月1日(木) : 「来年は?」



興味津々と発表に聴き入る参加者



発表を終えて...

色々心配なことも多かったですが、あっという間に過ぎていった感じでした。今回の発表を通して感じたことは「ビーンズの活動をもっと広く知ってもらい・理解してもらうための“場所”は選ばない」ということでした。きっかけは「ビーンズふくしま」ピアサポートネット各地区のプログラム「コミュエク」という決して大きくない活動かもしれないけれど、全国各地からたくさんの方々が興味を持って発表を聴きにきてくださったり、発表を聴くことで他の事業やビーンズの活動そのものに興味関心を示してくださったりと、こちらが発表することで得たかったこと以上のものを得られた気がしています。“学術発表”と考えるとなんだか堅苦しくて難しいように思われるかもしれませんが、ビーンズの活動を広く知ってもらうことで「得られるもの・返ってくるもの」の影響は計り知れないと感じました。準備はなかなか大変でしたが(苦笑)、とてもやりがいを感じた発表でした。

ぜひ来年も何らかの形で、ビーンズの取り組みを全国に発信していけるような機会を確保していきたいと思えます。



会場で掲示した発表ポスターと担当スタッフ

当日の様子

発表時間は2時間。ポスターの周囲にフリースクール・こころの相談室・サポステのパンフレット、ビーンズとピアサポのホームページURLも掲示して、準備OK!。「誰も来なかったらどうしよう…(汗)」という担当スタッフの緊張や不安に反して、たくさんの方々が発表を聴きにきてくれました。通りすがりに足を止めてくださる方、ちょっと遠くからじっくりと眺めていかれる方、積極的に質問して下さる方、ビーンズふくしまという団体の活動自体に興味を持って下さる方などなど…。「ピアサポート」をどのように捉えて活動しているのかという学術的な質問が多かったほか、「このエクササイズ、私のところでも活用したいのですが、具体的にどのように実施すればいいんですか?」という質問も多かったです。エクササイズの内容については、スタッフがアイデアを出し合って工夫した点がたくさんあるので、多くの方に興味を持ってもらえたのはとても嬉しかったです。「他にどのような活動をされているんですか?」という質問もちらほら。持参したパンフレットやビーンズ通信などで概要を説明する場面もありました。その後も人の流れは途切れることなく、発表スタッフはずっと質疑応答に追われ、あっちにこっちにでんてこ舞い!!気づいたら2時間の持ち時間が過ぎていて「あれ?もう発表時間終わり!?!」という状況でした。

ピアサポのホームページURLを携帯カメラで撮影していた方もちらほら。自宅に帰ってホームページを見てくれたかなあ…。

充実ぶりを全国に向けて発信したい!!と強く感じるようになりました。

そんな中、今回の日本心理臨床学会・秋季大会の案内チラシが目にとまり、「よし、やってみよう!」とスタッフ皆の気持ちが一気にまとまりました。大会には私たちと同じく、ピアサポート活動に従事する全国各地の実践家・研究者たちの参加が大勢予想され、まさに私たちのビジョンと合致していました。発表担当スタッフにとって、学会での学術発表の経験は初めてのことでした。不慣れなゆえ、準備段階から苦勞する面も少なからずありましたが、「絶対に成功させるんだ」という強い意志のもと、担当スタッフ一丸となって発表当日まで駆け抜けていきました。

発表にあたってとくに配慮した点

まず何より、参加したメンバーさんの個人情報が出ることを避けよう、プライバシーへの配慮を徹底しました。メンバーさんの「ナマの声」はすべて匿名化したうえで、個人が特定されないよう必要に応じて加工しました。また、発表ではコミュエクの様子をよりリアルに伝えるため、活動中の写真を数点挿入しましたが、こちらメンバーさんの顔が写っていないもののみを選定しました。

発表は「ポスター形式」という、発表内容を記載した大判ポスターを掲示し、発表者はその前に立って出席者から色々質問を受けるといったスタイルのものでした。ポスターは「まず何よりスッキリした構成で、見る人をグッと引き付けるようなもの」をコンセプトに、パッと見て「なるほどね!」とわかるよう、イラストや図表、文字の彩色などにもこだわって編集作業を進めました。そしてビーンズの思いがたくさん詰まったポスターを引っさげ、いよいよ学会当日の朝を迎えます。

はじめに...

8月25日(日)~28日(水)にかけて、日本心理臨床学会の第32回秋季大会が神奈川県横浜市のパシフィコ横浜にて開催されました。日本心理臨床学会は、臨床心理学に関係するさまざまな研究・研修活動を行うことを目的とした学術団体で、現在は会員数およそ25,000人を超える日本の心理学系で最大規模の学会です。当学会は毎年8~9月ごろに秋季大会を開催し、全国各地から大勢の研究者や実践家たちが集い、日々の実践活動に関する研究発表を行っています。

こころの相談室事業はふくしまピアサポートネット(ピアサポ)と連携・協働し、各開催地域ごとに「コミュニケーション・エクササイズ」(愛称:コミュエク)というゲーム形式のプログラムの企画・運営を担当しています。今年度の大会では、プログラムを担当したスタッフ2名が研究発表者として、ピアサポでの活動をテーマとした学術研究発表を行いました。

今回の特集では、そんな私たちの取り組みの成果を皆さまにお伝えします。

学会発表に至るまで

昨年度のピアサポでは、県内6地域でプログラムを実施し、総勢30名ちかくのメンバーさんとの出会いがありました。嬉しいことに、参加した皆さんのほとんどが「コミュエクが一番楽しかった」「みんなと仲良くなるきっかけになった」等の好意的な感想を寄せてくださり、私たちにとっても大きな励みとなりました。このような暖かい声を受けて、私たちは「ピアサポやコミュエクのことをもっと色々な人たちに知ってもらいたい。ビーンズだからこそ出来る、活動の素晴らしさや

参加者は、浪江町、富岡町の子どもたち55名、保護者・スタッフ23名の計78名でした。今年も友達と一緒に目を輝かせて、力いっぱい約6時間遊びました。今年は2回目ということで、みんな一緒に活動にも慣れ、ビーンズやハワイアンズの約束は、ほとんど守れたようです。

ハワイアンズから帰る前にとったアンケートでは、全員が「とても楽しかった。」の項目を選んでいて、「みんなと遊んで楽しかった。」「いい思い出になった。」などが感想としてありました。さらに、「来年はどこに行きたいか。何をしたいか。」を聞いたところ、ハワイアンズ。スキー場。カルチャーパーク。動物園。アクアマリンふくしま。ディズニーランド。鶴ヶ城。遊園地。キャンプ場。あぶくま洞。お土産を買いたい。(今年は禁止。)好きな弁当を食べる。(今年は予算の都合で満腹ボリューム弁当。)などでした。

では、断然多いのは?やはり「ディズニーランド」!そうなるとお金も移動も大変…。でも、あるお母さんは「ぜいたくは言いません。」とも。そうです。目的はみんなと一緒に遊ぶことですから。来年もできる範囲で楽しい計画を立てたいと思います。

なお、12月下旬から7か所の仮設住宅で、もちつきを実施する予定です。

ボランティア希望の「あなた」!
当事務所(TEL024-573-0150)へご連絡を!
そんなあなたを、あふれんばかりの子どもの笑顔が、そして250kgのもち米や、うすもきねも待っています。(新山)